



国際ロータリー第2750地区

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

2009～2010年度

# 会報



友情そして交流の輪を深め人生を高めよう

2010.3.17・24 第915・916回例会 No.20-31・32 2010.3.31発行

2010・3・17 第915回例会  
どぜうを食べて落語を聴こう  
親睦移動例会

駒形 「どぜう」



浅草演芸ホール

どぜう鍋



## 会務報告

会長 伊藤 英也

- ・本日 10:30 より臨時の理事会を開催し、親睦旅行の花見について協議しました。後ほど親睦委員から報告があると思いますが、飛騨の方に旅行に行く事に決定しました。
- ・地区よりチリ災害の義援金の要請がきておりますので、皆様に寄付をお願いしてキリの良い金額にして本部に送ることにいたします。

## 幹事報告

幹事 宮本 誠

- ・地区からお知らせ、ポリオのチャリティーでフジ子・ヘミングのリサイクルがあります。6月11日で少し先になりますので、興味のある方は事務局までお問合せ下さい。
- ・入院しておりました伊澤ケイ子さん、土曜日に無事退院されました。来週より出席されると思いますので、盛大なニコニコをお願いします。

## 次年度会長報告

会長エレクト 宮村 宏

今回は特にありません。

## 次年度地区青少年交換委員長

東京大崎 R C

古谷 誠康 様

まずは次年度の来日生の受入れ誠にありがとうございます。前回は非常に大変だったと聞いておりますが、学生に問題があったように思います。今回は日本を第一志望とした学生を集めて厳しく指導して参りますが、それでもホストファミリーのご苦労は大変な事だと思います。夜遅いとか、勉強しないとか問題がありましたら、どうぞご自分の子供のように叱ってやっていただきたいと思います。私どもも精一杯バックアップさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 新会員入会式

増強委員長 村上 久

祝入会！ 伊藤 静子 会員

## 新会員紹介

推薦者 岩野 京子 会員

伊藤さんとは、私の仕事を通じて知り合いになりまして、10年来お友達としてお付き合いさせていただいております。

伊藤さんのご主人が一昨年お亡くなりになり、

2010・3・24 第916回例会

司会 S A A・親睦委員会 遠藤 二郎

点鐘 会長 伊藤 英也

ロータリーソング 「我らの生業」  
ソングリーダー 吉沢 洋景

お客様紹介 会長 伊藤 英也

卓話講師 中野 東禅 様

東京大崎 R C

次年度青少年交換委員長 古谷 誠康 様

米山奨学生 李 炯 君

例会場：京王プラザホテル多摩 例会日：水曜日 12:30～ 月最終例会 18:30～

事務局：〒206-0033 多摩市落合 1-43 京王プラザホテル多摩 561号

TEL042-372-6463 FAX042-372-6491 Eメール tamaerc@tamaerc.ioin-us.jp

会報・記録委員長 小泉 博

副委員長 大松 誠二

会長 伊藤 英也 幹事 宮本 誠

委員 萩生田政由・片山哲也・小林正裕

小田良生・海野榮一・山田勲・吉沢洋景

後を継いで従業員 1,250 名の運輸業の大会社の社長さんです。時々お宅に伺わせていただいています。先日ロータリーのお話をしましたところ、ご自分からご入会されたいとお話があり、良い機会だなと私も喜んでおります。どうぞ皆さん暖かく見守っていただけますようよろしくお願いいたします。



入会証書授与・バッヂ貸与並びに歓迎の辞

会長 伊藤 英也  
 会員証授与 幹事 宮本 誠  
 「四つのテスト」

ロータリー研修委員会 赤尾 恭雄  
 所属委員会発表及びアドバイザー指名

会長 伊藤 英也  
 アドバイザー：岩野京子会員・伊藤英也会員  
 所属委員会：SAA・親睦委員会

写真撮影 新会員・会長・幹事・アドバイザー  
 新会員挨拶 伊藤 静子会員  
 何も分らない私ですが、皆様の仲間に入って、より良いロータリーの一員として活躍していきたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

### 【 委員会報告 】

<b>出席報告</b>	<b>出席奨励委員会</b>
会員総数	37名
出席義務者数	32名
出席者数	出席義務者 24名
	出席義務免除者 3名
	事前MU 0名
出席率	77.14%
第914回例会(3/3)訂正出席率	76.47%

### ニコニコBOX

SAA・親睦委員会 津守 弘範

古谷誠康様 次年度来日生の受け入れありがとうございます。当委員会は頑張ってお返しさせていただきますので、よろしくお願い致します。

伊藤 英也 伊藤静子さんご入会おめでとうございます。お客様ようこそ。

伊藤 英也 中野東禅さん卓話宜しくお話し致します。

宮本 誠 伊藤さん入会うれしいですね。

阿部 華歌 伊藤様ご入会おめでとうございます。

中野東禅先生卓話 宜しくお話し致します。

足立潤三郎 伊藤静子様、ご入会おめでとうございます。中野東禅先生、卓話楽しみにしています。

遠藤 二郎 伊藤さん入会おめでとうございます。中野東禅先生ようこそ！

猪股 末男 桜はまだかいな。

萩生田政由 伊藤静子さん入会おめでとうございます。中野東禅先生、卓話楽しみにしています。

岩野 京子 伊藤さんご入会おめでとうございます。これからも宜しくお願いします。

宮村 宏 地区交換委員長 古谷様ようこそ。

村上 久 伊藤さん入会おめでとうございます。

中谷 紘子 中野先生楽しみです。

小笠原 悟 中野東禅先生の講話楽しみです。

齋藤 誠壽 ロータリーバッヂのお釣りで。

齋藤 誠壽 花も咲き迷っていますね、卓話楽しみにしています。

関岡 俊二 中野東禅老師 卓話宜しくお話し致します。

津守 弘範 中野東禅様卓話楽しみです。伊藤静子さま入会おめでとうございます。

海野 榮一 浅草行脚の飲み会の残金です。

海野 榮一 中野東禅先生、足もとの悪いところをお運びいただきまして有難うございます。

**本日の合計 ¥ 26,355 (累計 ¥ 730,854)**

**チリ地震募金について 募金委員会 猪俣 末男**  
 このところ各地で不幸が続いております。チリ地震とそれに伴う津波が方々でありました。私達がこうしていられることが本当に幸せなことだと思います。会長の会務報告の通り皆様のお力を少しでもいただきたいと思ひ、これから宝箱を回しますので、よろしくお願い致します。

### その他

**SAA・親睦委員会 委員長 足立潤三郎**  
 伊藤・宮本年度もあと数ヶ月、今年度のクラブ事業も、あと親睦旅行と最終例会を残すのみとなりました。昨年は地区大会の影響で親睦旅行は無かったのですが、来期20周年を迎える節目として、奮発して飛騨高山に行くことといたしました。日程は4月18日(日)、19日(月)です。内容は高遠の彼岸桜、白川郷合掌造り、飛騨の鍾乳洞めぐりです。詳細は後ほど皆さんにご案内します。参加費は一人¥18,000です。今回はご家族も一緒に参加していただけるイベントですので、どうぞ予定に入れていただいて、なるべく沢山の方にご参加いただきたいと思ひます。

**創立20周年記念実行委員会 遠藤 二郎**  
例会終了後事務局で総務委員会を開催いたします。  
各委員長はご出席お願いいたします。

**卓話時間 プログラム委員長 海野 榮一**  
今年度はプラスミーティングとして自然環境との調和というメインテーマでやってきました。今回が3回目となりますが、自然環境と人間の心と言う大きなテーマでお話いただくという事で関岡会員に相談したところ、そのテーマであればと中野東禅先生をご推薦いただきました。

中野先生のご紹介は関岡会員にお願いします

**講師紹介 関岡 俊二 会員**  
中野東禅先生は1939年に静岡県でお生まれになり今年70歳になられます。毎年私どものお寺でお施餓鬼法要を行う際にお説教をしていただいております。檀家の皆様も大変楽しみに来ていただいております。駒沢大学、武蔵野大学の教鞭を取っておられ、京都の竜宝寺の住職でいらっしゃるようですが、ほとんど京都にいらっしゃるくらい各地でいろんなお説教をされておられ、曹洞宗では無くてはならない方でいらっしゃいます。

「ブチ出家入門」など一般の方にも分かり易い本を沢山書いておられるほか、座禅の本、正法眼蔵を読み解くなどの難しい本まで、沢山の著書をお持ちでいらっしゃいます。

座禅と違って警策は飛んできませんが、80分と言う長い時間、今日は大学の講義を聴くつもりでしっかりと聞いていただきたいと思います。

**卓話 「少欲の知恵・環境問題への仏教的視点」**  
**中野 東禅 先生**

本日はこのような会にお招きいただき恐縮しております。いただいたテーマが現代の重要な問題であり、これについてなんらかの答えが出せるかということで自分でも勉強させていただきました。先日新聞に、水が出来て35億年経っていて我々はそれを繰り返し使っているに過ぎず、ワインで言えば35億年物だと書いてありました。

私が大学で主にやって参りました仕事は、仏教の生命倫理問題です。生命倫理は環境倫理、死刑問題、脳死臓器移植から尊厳死問題まで非常に幅の広い分野でして、日本生命倫理学界を20数年前に作ったところと今は全然違い、どんどん新しい問題が出てきております。そういう中で本日は仏教と環境問題ということで考えてみよう、お手元に資料を作って参りました。

環境問題と言いますと、開放系と閉鎖系と言うことをよく言われます。私が最初にこの言葉を聞いたのは、東京大学の内科の先生で環境庁の環境研究所の所長をやっていたらっしゃった大井玄という方のお話の中でした。

土地から収奪する自然観が開放系で、土地を育てる自然観が閉鎖系です。

アメリカ型と言いましょ、土地は広いから

ここで失敗しても他所に移って成功すれば良いじゃないかと言うのが開放系です。

例えば島全体をトウモロコシ畑にしてしまっ、大雨が降ったら全部流されてしまったという植生の多様性を無視したやり方とか、農地拡大の用水のためにカスピ海がどんどん縮小して回復不可能になっちゃったとか、自然は無敵だからどんどん開発したら良いと言うのが開放系の考え方です。それに対して日本とかヨーロッパは土地が狭くて人口が多い、そのために土地を耕して育ててリサイクルしていくしか無い。例えば日本の人口は源平の頃



が700万人、江戸初期が2千万人、明治維新で3千万人でしたが、その間ずっと自給自足を行って来たのは土地を育ててきたからです。ヨーロッパもそう言う考え方です。自然と人間がうん

と近い関係と考えるのが閉鎖系の考え方です。

「人口増加に伴う資源の蚕食と価値多元化と人間の自制と葛藤」と言うのが環境問題の一番の問題点だと思います。基本は人口増加です。第二次世界大戦が終わった頃、中国は約3億人、昭和40年代には7億人くらい、今は約14億人ですか。これは毛沢東が経済の基本は労働力であると人口増加を奨励したため、わずか20年で人口が倍になり、現在中国政府は非常に苦労しています。

人口増加と言う問題が基本にあって、これによって資源の蚕食と価値の多元化が起こってきました。価値の多元化は情報のグローバル化とともに、価値観のグローバル化をもたらしました。戦後日本では、外国人が回りで暮らしていることはなかなかなじみませんでした。ここ50~60年の間で、なんとも思わなくなってきましたし、外国人と結婚する人も増えてきました。

価値観が流通することにより、今まで想定しえなかった資源の蚕食が起こってきました。たとえば、ロシアや中国の人が生のマグロを食べるようになったのもこういう価値観の流通によって起こっていることです。

環境問題は、人間自身を自然の一部とみることでは問題を解消し得ないと書きましたが、これに尽きると思います。

つまり人間は特別で人間が全てを支配できる、人間のために世界があると言う考え方はおかしい。人間も大自然の中で牛や馬と同じ地平にいるんだと、その中で人間は動物にない努力する才能と責任があるという考え方でしか解決できない、結論はここに尽きると思います。

そういう哲学と方法論を確立できるかどうかを世界中でみなさんが葛藤しているところだと思います。毎日新聞でマータイさんが書いておられましたが、

自分はカトリックだったが最近プロテスタントに変わった、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教などが持っている排他性は環境問題と合わないと痛切に感じたそうです。

排他性というのは人間が絶対と一言を言っていると、人間が自然を支配して生き残らなきゃならないと、持続可能な発展と一言のは人間が自然を管理するという発想だといっています。

そうじゃない、人間は自然を管理するのではなくて人間は自然の一部なんだ、自然の一部だということから努力するのと、自然を管理するということから努力するのでは目線が違うといっています。

これが環境問題の全ての基本になろうと思います。進歩ということに対立と調和というところで見ただけだと、自然と人間が対立するということは、自然の征服と一言することで、これが自然環境の破壊を招いてしまいました。新たな生き方として、自然と人間の調和・共生という考え方が出てきました。

人間と人間の対立は競争社会を作り、もたらされた結果は不信・抗争の深刻化でした。これに対して新しい生き方としては人間相互の調和・環境再生という考え方であります。

知性と感情の対立は、理性的社会を目指してきました。しかしもたらされた結果は抑圧された感情の噴出でした。理性でコントロールできない人々の抑圧がぶつってきています。新しい生き方としては知性と感情の調和と質を重視した清貧小欲で自制心を持って生きていくという考え方であります。この自制心と言う「徳」が世界で確立できないでいるというのが、環境問題の基本であろうと思います。

そこで仏教で見る自然環境と人間の関係で、これは仏教のごく基本の宇宙観です。今後みなさんがものを考える時の基本になると思いますので紹介しておきます。

まず、縁起の縁と一言のは条件の調和ということなんです。起は存在ということなんです、縁起で、存在とは条件の集合と一言することになります。

常と一言のは変わらないということなんです。ですから無常は変わるということなんです。条件はどんどん変化していきます。

無我、我が無いということは、存在に不変性は無いということなんです。時々刻々変化しながら我々はやっていくわけです。

為と一言のは損得のことなんです。無為とは損得では無いということなんです。誰も背が高いとか低いとか、髪の毛の色がどうだとか、自分で計算して生まれてくる人はありません、このように無条件で与えられたものであるものを無為といっています。

空とは捉えようが無いという意味と、自由に変わり得ると言の意味があります。この空が5世紀に数学に利用されて0の発見になったのです。それが7世紀にヨーロッパに伝わって今の数学になっていくんですね。つまり空と一言のは、存在と一言のは自由に变化するもので、拘ることが出来ないということなんです。その根底は寂静と書いて、存在の根源は頭に血が上ったり、概念観念損得以前であるというこ

とです。

それに対して、人間の迷いの現実、妄縁起つまり自己中が縁起しているわけですね、また常は変わらないという錯覚のことなんです。

我と一言のは実体があると錯覚すること、有為と一言のは損得で行動することなんです。有と一言のは迷いに捉われていることで、迷いの輪廻は妄縁起を繰り返すということなんです。これらが人間の迷い現実であります。

人生修行のあり方は、縁起と妄縁起に気付くということなんです、おろかな事をして自分の痛みでおかげ様に気がつくということなんです。

無常を悟るとはお互いに死ぬべき定めであることに気付くことなんです。無我になるとは自己主張が止められる、無為になるは損得でなく行動できるようになる、空になるは自由になって拘らなくなる、そしてそれを解脱といっています過ちを繰り返すことから開放されることなんです。

これらのことで仏教で見る存在論と人間のあり方というものに簡潔に説明がつきます。

そこで、これに基づいて、人間は自然の一部であるということなんです。終戦後長野県の学校の先生が偉い禅宗の偉い坊さんに話を聞いた時に、「教育とは何か？と一言のは人間とは何か？を教えるということなんです。で、人間とは何か？と一言のはおまんま食べてウンコ垂れて死ぬことなんです。その間にちょっとばかり良いことしたり悪いことしたりするんです。」と一言はわかれて、その時はふざけるなと思ったが、定年退職してから思い出してみると非常に大切なことを言っていたのが分ったという随筆をその先生が書いていました。

おまんま食べてウンコ垂れて死ぬと一言のは、命の事で、人間は命が基本でしょということ、お互い死ぬべきものだから、善悪の方は命という大きな土台の上に乗っているたいしたことじゃない、死ぬるところから見れば、何をしなければならぬか分るでしょ、ということだったのです。

小欲というような考え方は、まさにそういう視点から人間を見ないと、私達が地球環境の中でお互いに節度を持っていくことはできないということなんです。

アメリカが京都議定書に署名しなかったのはなぜか？アメリカの方々は未だにピストルを手放さない、これは開拓民だからです。権利と権利が対立することを前提とした自由主義です。アメリカンドリームは成功したら大変な金持ちになって、石油資源などを大量に消費したっていいじゃないか、という考え方が根底にありますから、アメリカは京都議定書に署名しなかったのです。

我々が小欲と一言のものを一人ひとりの清貧小欲で終わらせるのではなく、政策として社会の文化として、哲学として強いものにしていかないとこの問題は解決できないと思います。

仏教的生き方の徳は「和」である、「和の徳」と一言のは信頼性とか安心感とかいう基本は小欲清貧、お互いに自制心を持つということなんです。お互いに一歩下がり、相手を認めて協力するということだと思

います。

次に正法眼蔵山水経を紹介します。

自然そのものは縁起無為無我無常の実現だということ。ひとつの水というものでいろいろな立場で見なければならぬということ。一滴の中にも無量の仏国土現成なりというのは、たとえ一枚の菜葉であっても尊いということ。人間の欲望の視点だけで見てはならない、仏の目線まで広げてみなければならぬということ。

また、自然とは人間の都合を越えたものであると、また、自然環境と自己は一体でありその上で個人として自律していることが大切であるという見方をすべきだと言っています。

自然は自然を喜び愛する人に属するのである、自然を人間の物差しで見えてはいけぬとも言っています。職業を通して自己を練る、職業の造詣を深めていく、仕事によって人間として進歩していく、人間らしく生きるということに引きずられて進化していくという視点であります。

道元のこの文章は自然との関係をこう論考しています。

因果業の仕組みでは、惑、業、苦と書いてあります。惑は煩惱、業は心と行為、苦は意思に逆らうこととあります。煩惱によって心と行為を行い苦しむということとあります。

業の中身は、まず依報(えほう)と正報(しょうほう)、ようするに環境と固体の関係であります。人間は環境一部だということとあります。

旧業(くごう)は生命が心と行動を決定するということとあります。

宿業(しゆくごう)は、コンプレックス、文化、習慣が私達の心と行動を規定しているということとあります。

共業(くごう)は自分の行動が他人の行動を決定することで、不共業(ふくごう)は自業自得のこととあります。

三時業(さんじごう)とは行為の影響が時間差で現れるということとあります。すぐ現れるもの、暫くして現れるもの、忘れたところに現れるものがある。

異熟業(いじゆくごう)とは因果関係は心を通すと異なってくるということとあります。

以上の業を背負って日々新しい行為を行っていくことを新業(しんごう)といいいます。

迷いと苦しみを繰り返す新業を輪廻といい、気付きによってそこから抜け出すことを別解脱といいいます。

気付きは仏から来るということとあります。

現実の責任を背負う仏教的生きかた

百丈懐海は、仏性・心理を土台・分母として因果(現実のしがらみ)を運載すると言っています。丁寧に生きて良かったな、ということにするのは貴方の主体性の問題、貴方の責任の問題だといっています。

小欲知足というような問題を環境問題として語るような場合でも、結局責任主体としてそれも個人であると同時に社会全体や法律や存在論という哲学、そういったものでそれを確立して武装していかないとこれに対する対応策が強い言葉になっていかぬと思います。

こういった事を提言して終わりにしたいと思います。

<質問>

・宮本会員

正法眼蔵はとても歯がたちませんでした。正法眼蔵とは何を言わんとしているものなののでしょうか？

・中野先生

正法とは正しい教えと言う意味です。眼蔵とは物を見る視点ということ。正しい教えに対する物を見る視点ということが、総体の題名です。これが95巻あり、さらに拡大があります。

正法眼蔵はあまり易しい解説がされていないので、私はこれに訳を付けた本を書きしてみました。

・関岡会員

「千の風になって」という歌が流行って、おまえんところは寺なのに、墓にいなかったら困るでしょう、と良く言われますが、これについて解説をお願いします。

・中野先生

新井満さんが、友達の奥さんが亡くなった時にあのアメリカの詩を見つけて、翻訳して作曲してあの歌を作りました。録音したのは目黒のお寺でした。30枚CDを作って、その時に私もいただきました。7年くらい前。その時も良い歌だなと思いましたが、家内が亡くなってからもう一度聞いたら感動しましたね。

あれは亡くなった人はどこにでも居ますという向こうからのメッセージです。貴方が思い出してくれたらいつでもいますと言うメッセージです。

お墓の前にいませんと言うところに坊さんはみんなひっかかりますが、ところが私の家内は胸ポケットにいますとってポケットから写真を出す人かいます、交通事故でも事故の場所に観音様とか立っています。亡き人はお墓の前だけでなくどこにでもいますということとあります。私達は生きている人の方からばかり物を見ますが、あれは亡くなった人の方から物を見ているのです。

家族に死なれた人が、貴方が思い出してくれたらいつでも側にいますよと言っているから救われるんです。

霊魂とは感じ取ることでとった人がいます。見事な言葉です。神社の神様やお寺さんのやってる儀式は相手が見えないから、それを感じ取るためにいろんなことをやっているのです。これが結論だと思います。

お礼

会長 伊藤 英也

チリ地震募金報告

募金委員会 猪俣 末男

23,252円があつまりました。これにクラブとしての追加をしてまとめた金額を寄付させていただきます。どうもありがとうございました。

点鐘

会長 伊藤 英也

(今週の担当 小林 正裕)